

修学旅行

in 松江

5月10日(月) から12日(水)

5月10日(月) から12日(水)、大口中学校3年生246人が姉妹都市である「島根県松江市」へ修学旅行に行きました。水木しげるロード(鳥取県)や松江城、松江フォーゲルパーク、石見銀山、出雲大社などの名所を巡りました。

松江フォーゲルパークでは、修学旅行記念植樹として、大口町固有の「おおぐち観銳桜」を植樹し、松江市からは「松江ツーリズムアンバサダー」に任命されました。

また、大口中学校の生徒から4月に松江市で発生した大規模火災で被災された方々を支援するため、生徒会新聞での呼びかけや募金活動などにより集まった義援金を贈りました。

*1 大口町の諏訪神社にある古来種エドヒガンをクローン技術により培養した桜。初代町長で、五条川堤の桜並木の植樹に力を注いだ「社本銳郎氏」の一文字をいただき名が付けられた。

*2 姉妹都市からの修学旅行生を対象として、松江市の歴史や文化等を学び、その魅力を発信し、修学旅行後も松江市を訪れる機運を高めるため、任命するもの。

知恵と迫力



地元愛

私は、石見銀山に行つて、古くからの歴史を実感しました。また、昔

からの街並みを今も残そうと続けている現地の方々の努力が目に見え、地元愛を感じました。特に印象的だったのは、私達に石見銀山の歴史を一生懸命に伝えようとしてくださったボランティアの方々です。常

に笑顔で石見銀山の素晴らしさを教えてくださったことに感謝の気持ちでいっぱいです。これからは、私も、石見銀山のことを知らない人たちにその魅力を伝えたいと思います。

本当にありがとうございました。



新しい縁



僕は、出雲大社に行くのが初めてだったので、バスの中から大鳥居が見えてきたとき、その迫力に感動し、歩き始めた後に見えた神楽殿の大しめ縄に目を奪われました。本殿では、「クラスのみんなともっと仲良くなりたい」とお願いしました。その願いが早くも叶ったのか、今回の修学旅行を通して、今まで話したことがないがかつた人ともたくさん話せるようになりました、とても有意義な時間を過ごすことができました。縁結びの神様について、とてつもなく深まるといひなと思いました。

妖怪の世界



私は、「水木しげるロード」でたくさん思い出を作ることができました。これまで、あまりゲゲゲの鬼太郎を見たことがなかった私は、正直、楽しめるか少し不安でした。しかし、水木しげるロードに一步足を踏み入れた瞬間、私の心は躍りました。そこには妖怪の世界が広がっていたのです。道路のいたる所に妖怪を模したブロンズ像や街灯があり、お店は妖怪に関するもので埋め尽くされていました。生まれて初めて見る光景に心を奪われ、とても充実した時間をお過ごすことができました。

私はカヌー体験をしました。まず、講師の方の説明を聴き、少し怖いけど楽しそうと思いました。次に、湖でおぼれないように救命胴衣を着ました。カヌーに乗り込んだときは、すごく揺れて怖かったです。一生懸命力ヌーを漕いだけど、なかなかうまく進まず困っていたら、講師の方が「ツイ」を教えてくれました。すると、少しずつうまく漕げるようになります。カヌーが嬉しい通りに進んだときは、とても嬉しくて楽しかったです。貴重な体験ができる本当によかったです。



カヌー体験

人の温かさ



今回、私たちが修学旅行に行けたのは、大口町のたくさんの方々が支えてくださったからです。そして、修学旅行先である松江市の方々も温かく笑顔で迎え入れてくださいました。そのおかげで、私たちは貴重な経験をさせていただき、最高の思い出を作ることができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。私たちはこの修学旅行を通して多くの方々の温かさに触れることができました。今回お世話になつた方々に少しでも恩返しができるよう、ツーリズムアンバサダーとして松江市の魅力を大口町のたくさんの人々に伝えたいみたいです。



つなぐ

2日目は「フォーゲルパーク」で、おぐち観銳桜の植樹式とツーリズムアンバサダーの任命式がありました。任命式では松江市長からのビデオレターを見て、松江市の方々が姉妹都市である大口町の私たちをとても快く迎えてくださっていると改めて感じました。この式典に参加して私は、松江市との交流を大切にして、その関係をさらに深めていきたいと感じました。松江市の歴史や文化などをもっと学び、その魅力を大口町の多くの人に発信していきたいです。そして、大口町と松江市をつなぎたいです。